

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	こどもサポート教室「クラ・ゼミ」山形錦町校		
○保護者評価実施期間	6年 11月 18日		6年 12月 20日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	17	(回答者数) 17
○従業者評価実施期間	6年 11月 15日		6年 11月 22日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数) 7
○事業者向け自己評価表作成日	7年 1月 8日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	複数職員での活動プログラムの立案	保護者様から聞いた自宅や園での様子や、支援の様子を担当間で共有しながら支援内容を検討・提供している。特に小集団活動においては、児童の特性も踏まえた活動プログラムを話し合って決定している。	保護者様との情報共有をより密にし、自宅や園での課題を活動の中に取り入れていく。担当間で意見を積極的に出し合いながら活動プログラムを設定していく。
2	固定化されていない活動プログラム	ご利用様が飽きずに楽しく取り組み続けることができるよう、様々な活動を組み合わせる支援を行っている。同じ課題でも、多方面からアプローチできるように支援を考えている。また、季節感も大切にしている。	他校舎で取り組んでいる活動を参考にする等、様々なところから情報を収集し、より良い活動プログラムの立案を行っていく。
3	保護者様や関係機関との連携	毎支援後のフィードバックの時間を使ってご家庭や園での様子をお聞きしている。必要に応じて、相談援助を行っている。相談支援事業所との連携を密にとり、必要なケースは迅速に会議に参加している。	今年度から導入された家族支援加算や関係機関連携加算を活用し、保護者様にとって、より信頼できる場所になるよう努めていく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	活動スペースの配置・狭さ	個別療育のみの時は空間が確保されていてよいと感じたが、小集団での活動の際に狭さを感じることもある。玄関を入ってすぐに活動スペースになっており、安全性やプライバシー面で不安がある。	机やパーテーションを移動させ、可能な限り広く活動スペースを確保できるようにしていく。パーテーション等を使用し、目隠しや、入り口部分への安全柵への設置も検討していく。
2	担当間における支援の様子の共有	シフト制の勤務であることもあり、支援についての状況を口頭では詳しく共有できず、支援記録や実施教材等での共有になることがある。	毎支援での気づきを共有する時間を各職員が意識して設定していく。支援担当者が支援の様子について要点をつかむことでスムーズな引継ぎができるようにしていく。
3	保護者様同士・兄弟児との繋がり	現在、保護者様同士が繋がることのできる場が設けられていない。また、兄弟児も参加できるイベントの開催もしていない。	保護者様同士が交流できる場や、兄弟児も参加できるイベントの開催を検討していく。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名		こどもサポート教室「クラ・ゼミ」山形錦町校				公表日	2025年 2月 15日		
		利用児童数				17		回収数	17
		チェック項目				ご意見	ご意見を踏まえた対応		
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない				
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	12	3	1	1			
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	17	0	0	0			
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	13	4	0	0			
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	14	3	0	0	入口から入ってすぐ『活動の空間』というところに安全面やプライバシーの点が気になります。	パーテーション等を使用しての自隠しや、入り口部分への安全柵への設置も検討していきます。	
適切 な 支 援 の 提 供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	15	1	0	1			
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	16	1	0	0			
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	15	1	0	1	いつも細かい声かけ等助かっております。	お子さまの特性や、そのときの体調や心情を汲み取りながらお声掛けをしていきます。	
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	16	1	0	0			
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	16	1	0	0			
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	12	2	1	2	子どもの興味に合わせて、いろいろと工夫頂いています。		
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	10	2	2	3			
保 護 者 へ の 説 明 等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	16	1	0	0			
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	16	1	0	0			
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	8	1	4	4			
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	15	2	0	0	活動後の様子などを聞いたあと園や自宅の様子(困りごと)を伝えていますが、それに対する具体的なアドバイスなどあるとありがたい。それに対してこんなアプローチを試してみた等のフィードバックがないと毎回一方通行なやりとりを感じる。	ご意見ありがとうございます。お悩みごとやお困りごとを受け、より良い助言ができるよう、職員の知識の向上に日々努めています。また、その場でお答えが難しい際には、職員間で話し合い、適切に回答できるようにしていきます。	
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	14	1	2	0	定期的や相談したい時に時間を設けて頂いてありがたい。家庭でも出来ることがあれば教えていただきたいです。	これからも、子育てサポート加算や家族支援加算を活用しながら、助言等を行える場を設けていきます。	
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	15	2	0	0	いつも寄り添って話を聞いてくださり支援もしてくださり、ありがとうございます。	ご利用者様・保護者様にこれからも寄り添って支援させていただきます。	
18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	3	4	3	7	兄弟も参加できるイベントがあると嬉しいです。	父母の会・兄弟向けのイベントは開催できていなかったため、開催を検討していきます。		

	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	14	1	0	2		
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	15	1	0	1		
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	13	1	1	2		
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	16	1	0	0		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	12	2	0	3		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	12	1	0	4		
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	15	1	0	1		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	13	1	0	3		
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	17	0	0	0	子どもはいつも楽しそうに通所しており「今日はクラゼミの日！」と言ったりしています。	これからも安心して通所できるよう、担当間での情報共有や、きめ細やかな配慮をしています。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	17	0	0	0	通所して1年経っても毎回楽しみに通い、嫌だと言ったことがありません。ありがとうございます。いつも通所を楽しみにしております。いつも良くして頂いてありがとうございます。とても楽しく通所できています。	温かい言葉ありがとうございます。これからも、楽しく通所できるような活動プログラムの提供、声掛けや対応を行っています。
	29	事業所の支援に満足していますか。	16	1	0	0	楽しく活動しつつ座りながらの作業の集中力も上がっており、助かっております。	温かい言葉ありがとうございます。これからも、安心して楽しく通える場所となるよう、その日のお子様の様子に合わせた支援を続けていきます。また、保護者様にも寄り添っていきます。

公表	事業所における自己評価結果
----	---------------

事業所名	こどもサポート教室「クラ・ゼミ」山形錦町校	公表日	2025年 2月 15日
------	-----------------------	-----	--------------

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○			
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○			
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。		○	支援ブースは各ご利用者様に合わせて環境調整をしている。	入り口の段差など、バリアフリー化はされていないと感じる。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。		○	工作で使用した紙切れ等が落ちていることがあるため、気付いたときには職員が対応して、清潔な環境となるようにしている。	個別療育のみの時は空間が確保されていてよいと感じたが、小集団での活動の際に狭さを感じることもある。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○			
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	○		定期的なモニタリングだけでなく、日々の情報共有や課題の確認ができています。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○			
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		職員間で気づいたことはその都度意見を出し検討している。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○	他校舎の指導員に支援見学をしてもらい、支援の質向上に向けて話し合う機会はある。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		必須の研修も増え、今年度は特に研修の機会が充実していたように思う。 他校舎の指導員も交えての相談会にて、相談をする機会がある。	
適切な支援の提	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。		○		次年度より対応予定。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	○		ご利用者様の様子や保護者様からの話を担当間で共有し、その都度支援に活かすようにしている。	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		担当の指導員間でも情報共有を行い、支援計画の作成をしている。	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		複数名で担当となっている為、随時計画の共有を行っている。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○			
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		相談や連携の機会を多く設け、家族支援や移行支援にも力を入れることができています。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		担当間で最近の様子や、保護者様から聞いたご様子を踏まえて、支援内容を検討・提供している。特に小集団活動においては、児童の特性も踏まえた活動プログラムを話し合って決定している。	

供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		ご利用者が飽きず楽しく取り組み続けることができるよう、様々な活動を取り入れて支援を行っている。同じ課題でも、様々な方向からアプローチできるように支援を考えている。季節感も大切にしている。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ、児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	○		平日の小集団参加が難しい場合も、祝日や長期休みの際にお声掛けさせていただき、小集団活動にも参加いただけるようにしている。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		小集団活動においては、各職員の動きを予め確認している。また、臨機応変に対応できるよう、協力体制をとっている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○			その日のうちには難しく、別日に共有を行っている。毎支援での気づきを共有する時間を意図的に設定する必要があると感じる。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○			
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○			
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		相談支援事業所との連携を密にとり、必要なケースは迅速に会議に参加している。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○			
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		利用児童の園へ訪問し、見学や状況共有をさせて頂いている。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○			
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域子ども・子育て会議等積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	○			
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	○			
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		子育てサポート加算ができたことにより、これまでよりもご利用者の状態を知りたけだけの機会が増えた。フィードバックの時間を使ってご家庭や園での様子をお聞きしている。	
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○			保護者向けのイベントが開催できていないため、必要に応じて検討していく。
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○			
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○			

保護者への説明等	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	○				
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		フィードバック時に相談援助を行っている。定期的に面談の機会も設けている。		
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。		○			
	40	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○			モニタリング以外にも、支援場面を見学して頂きながら相談の場を設けることや、支援時間外に相談の機会を設けることもある。ご希望があって行つ場合と、必要性を感じてお声がけすることもある。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	○			小集団活動の様子の写真を保護者様にお送りすることがある。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○				
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○			電話やLINEも活用し、支援予定の再確認などの配慮を行っている。	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		○			
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○				
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○			ご利用者様にも参加をお願いし、避難訓練を定期的に行っている。非常時について、職員間でも日頃から確認を行っている。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	○				
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。		○			食事・おやつ提供なし
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○			事業所内・外の環境を確認し、対応が必要な箇所の確認を行っている。支援中の危険を予想し、環境調整を行っている。	
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○				
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○			他事業所でのヒヤリハット事例も確認している。	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○			研修を受けている。	
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	○				